

## 企画総務グループ打合せ（平成 19 年度 第 3 回）議題書（案）

- ・日 時：平成 19 年 11 月 16 日（金）9:30～12:00
- ・出席者：東畑・岸田・石井・末政・高橋・高岡・古屋（事業部より）・西川（事務局）
- ・欠席者：北本・荻本・王・大和

### 1．企画総務 G 前回議事録(9/21)の確認【別紙 - 1】

訂正事項：「地盤技術者の英語」講座 「地盤技術者の英語」講習会

### 2．運営委員会の報告【別紙 - 2】

議題 7 「土と基礎」支部特集号に関するその後の経過が末政幹事より報告された。

- ・応募があったのは、関東支部、中部支部および関西支部であった。
- ・中部支部と関西支部が平成 20 年度に 50 周年記念を行なうという事情を考慮し、平成 21 年度は中部支部と関西支部を掲載することになった。
- ・関東支部の企画は平成 22 年度に採用される可能性が残された。

### 3．本部からの行事企画の依頼【別紙 - 3】

- ・本部が計画した講習会「あなたの家は大丈夫？」を支部に実施して欲しいという要請があった。協議の結果、テーマを引き継ぐことになった。（講師や内容を再検討する。）
- ・地盤工学会なので、「あなたの家は大丈夫？」 「あなたの家の地盤は大丈夫？」にする。「家」では建築構造も対象になっているように受け取られる。

### 4．進捗状況の報告

#### (1) 工法協会との交流会【別紙 - 4】

アンケート内容を検討し、次のような修正を行なうことにした。

- ・単純ミス：「2．所属種別・・・」 「4．所属種別・・・」
- ・単純ミス：「8．・・・対象にしてもらい工種」 「8．・・・対象にしてもらいたい工種」
- ・追加項目：「9．交流会に対するご注文が何かあれば記載して下さい。」

#### (2) 「地盤技術者の英語」講座（高岡幹事）【別紙 - 5】

名称：「講座」 「講習会」

アンケート内容の修正

- ・添削に関しては、費用は 10～20 万円ということを明記した上でアンケートを行う。
- ・国際会議の発表のサポートに対する需要も調査する。

#### (3) 多摩川ウォークラリー（末政幹事）【別紙 - 6】

- ・降雨のために企画を中止した。来年に開催したい。

- ・飛び込み参加や連絡が取れず会場に来られた方がいた。当日中止の際の連絡体制をきちんと構築する必要がある。
- ・支出は保険代と謝礼のみ。これらは企画総務 G の新企画の枠で処理する。
- ・学生会員の交流の場になった。当初の学生会員に学会で活動してもらおうという目的は達成できた。
- ・CPD ポイントは 3 ポイント（現場見学会相当）とする。

#### (4) 特別会員（関東地方整備局）向け出張講座の報告（石井副幹事長）

国土交通省関東地方整備局長野国道事務所より出張講座の依頼（中部支部の了解済み）

日時：11月19日

講演者：(独)労働安全衛生総合研究所 伊藤和也氏

講演時間：最長40分

依頼内容：協力会社の監督者らを集めて安全講習を行うので、そのときに、土工、仮設、斜面安定、土留め壁などの工事中の安全・事故例などの話をして欲しい。

参加者数：200名程度

伊藤氏には、当日の開催状況を Newsletter に寄稿してもらうことになった。（末政委員が伊藤氏の了解を得た。）

2005 年に入会していただいた横浜国道事務所より退会届けが出された。今後も引き留めのため、出張講座を積極的に展開したい。

特別会員（関東地方整備局）向けのサービスの一つとして災害調査協定（後述）

#### (5) 中高向けの出張講座（高橋幹事）【別紙 - 7】

- ・提案の一覧表を HP に掲載することになった。

#### (6) 若手会員の会費減免・小規模会社向けの賛助会員（支部長発案）の報告

- ・評議員会で「本部の支部部会で検討することになった。」ことを報告し、了解を得た。

#### (7) 広報活動：Newsletter・HP 運営・マスコミや官庁の窓口リスト整備（王幹事）

Newsletter の次号の内容を協議した。

- ・巻頭言（新任の副支部長にお願いする。 田矢副支部長）
- ・ソイルタワーコンテスト
- ・支部発表会の優秀発表者の紹介と発表者のコメント（顔写真）
- ・関東地方整備局の 2 事務所へ出張講座

#### (8) 損保関係の関係強化

既に特別会員になっていただいたところに新設の研究委員会「地盤工学におけるリスクマネジメントに関する事例研究委員会」（委員長：日下部治（東工大），幹事：大久保拓郎（環境地質））【別紙-8】への参加（委員あるいはオブザーバー）を呼びかけることが報告された。

三井住友海上火災保険、損害保険ジャパン

(9) 学校関係へのサービスの検討

- ・この項目の検討は休止する。荏本幹事には一般市民に地盤工学を認識してもらうためのサービスを検討してもらうことになった。

(10) 国際会議・全国大会

東畑幹事長より下記の報告が行なわれた。

IS-Tokyo2008 (TC33) 第4回国際洗掘侵食会議

- ・科研費研究成果発表Cの申請を行った。

2009年全国大会

- ・会場は関東学院大学。懇親会は横浜市内。
- ・開催期間は大学の補講期間をはずして8月下旬になる。
- ・特別講演については発注者に今後の社会資本投資に関する講演をしてもらうことを考えている。
- ・60周年の記念行事は本部が検討することになっている。

IS-Tokyo2009 (TC4)【別紙-9】

- ・新規 IS-Tsukuba2014 (仮称): 不飽和土国際会議誘致 開催場所は未定。
- ・支部として発議する。

(11) 関東地方整備局との災害調査協定【別紙-10】

- ・災害調査協定を締結することが報告された。

5. 次年度の予算

(1) 今年度の予算執行状況の報告【別紙-11】

- ・企画総務 G の講演会活動が予定 (予算枠) よりも少ない。
- ・支部全体では、収入は目標達成、支出は約半分であるので、収支は赤字にならない。

(2) 来年度の交付金

副幹事長より交付金に関して以下の報告があった。

- ・評議員会で、会長提案の5%削減(80万円)を承諾することの承認を得た。
- ・支部交付金 WG より約55万円減の提示があった。この削減に対して、支部活動の事業収入(受益者に一定程度の負担をお願いする)で補うことで対処する。

これに対して以下の意見があった。

- ・「以前100万円増えたときに、スペースも増やしてもらうはずなのに家賃のみが100万円増えた。交付金55万円安くするなら、家賃を減らしてもらいたい。」ということ本部支部懇談会で発言して欲しい。

### (3) 次年度の企画総務 G の計画

予算枠として下記の案が副幹事長より提示され、了解された。

#### 講演会・講習会

支出：30万円（H19年度） 来年度も同じ目標で

収入：30万円（H19年度） 来年度は収入増をめざす

出張講座 小中高校向けと特別会員向け（新規枠として申請）

支出：5万円（H19年度） 10万円（H20年度）

#### 工法協会交流会

支出：10万（H19年度） 継続

実業高校の土質試験支援費 来年度は予算化せず

支出：5万円（H19年度） 0円（H20年度）

新規企画（今年度は多摩川ウォーク・関東地整への出張講座）

支出：5万円 継続

広報活動（Newsletterの発行費） 今年度と同様

支出：60万円（H19年度） 60万円（H20年度）

### 6. 支部長の選出方法【別紙-12】

副幹事長より、支部長から選出方法を検討するようにとの指示を受けたことが報告され、その方法の提案があった。協議の結果、次のようにすることとした。

選出方法は「関西支部規程」と同様に「支部規程」に記載にする。（「前年度評議員会が支部内の会員の中から推薦し」となっているので、これはそのままとする。）

選出基準や手順については「支部長推薦に関する申合せ」とする。

- ・支部長の資格基準：副支部長経験者あるいは本部理事の経験者
- ・副支部長の資格基準：関東支部の幹事長以上の役職経験者・本部役員経験者・地盤工学関連の企業経営経験者・各種関連協会の理事経験者、ならびにそれに準じた人物
- ・選出手順（評議員会）：立会い演説 投票、

### 7. 第2期代議員の推薦【別紙-13】

#### 交代人事案

（副幹事長） 山崎 晶 氏 北本 幸義 氏

（国交省関係） 穴戸 皓一 氏 菊池 喜昭 氏

（神奈川県 G） 深沢 健 氏 田中 洋輔 氏

（海外出身） ハザリカ ヘマンタ氏 王 林 氏

(大学) 清水 恵助 氏 石井 武司 氏

その他は留任

事務局へ

代議員候補者に依頼を打診して就任の了承を得る

8. 次回

来年1月下旬頃

主な議題：進捗状況、評議員会対応、来年度の計画（行事企画）、役員交代案など

以上